

令和8年2月18日

保護者様

船橋市立高根台第二小学校

校長 新田 真理子

令和7年度 学校教育活動アンケート結果ならびに学校関係者評価について

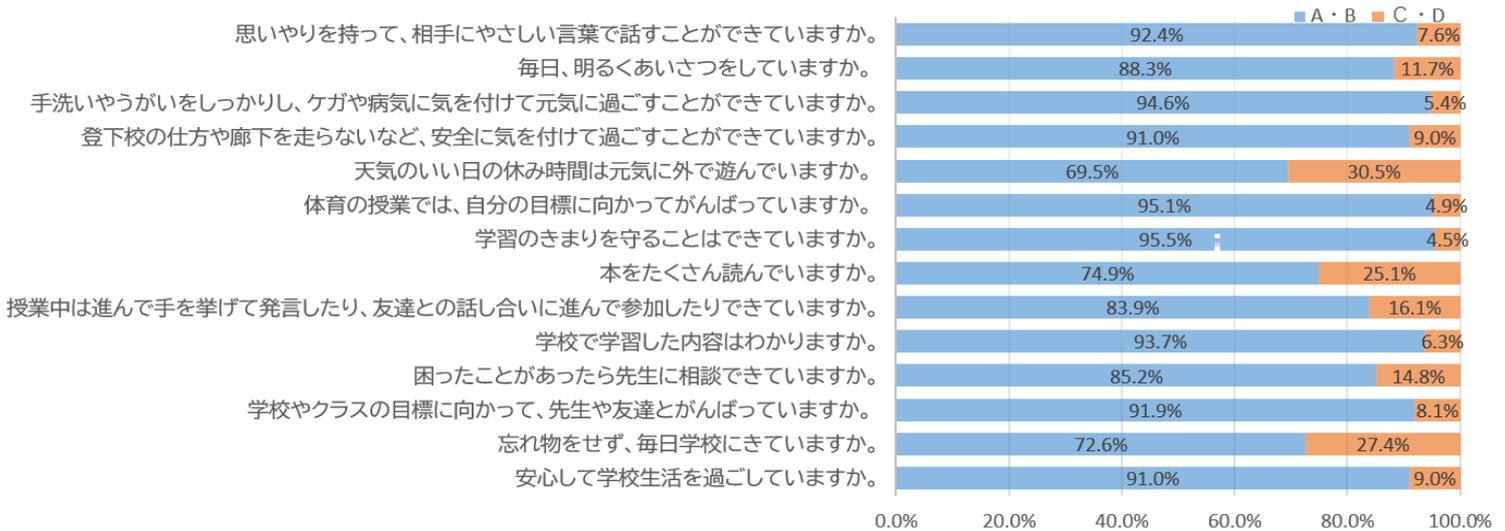
余寒の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。本年度の学校教育活動にご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、以下のとおり、昨年末に御協力頂いた学校教育活動アンケート結果と学校運営協議会からの学校関係者評価を記載しましたので、御覧ください。

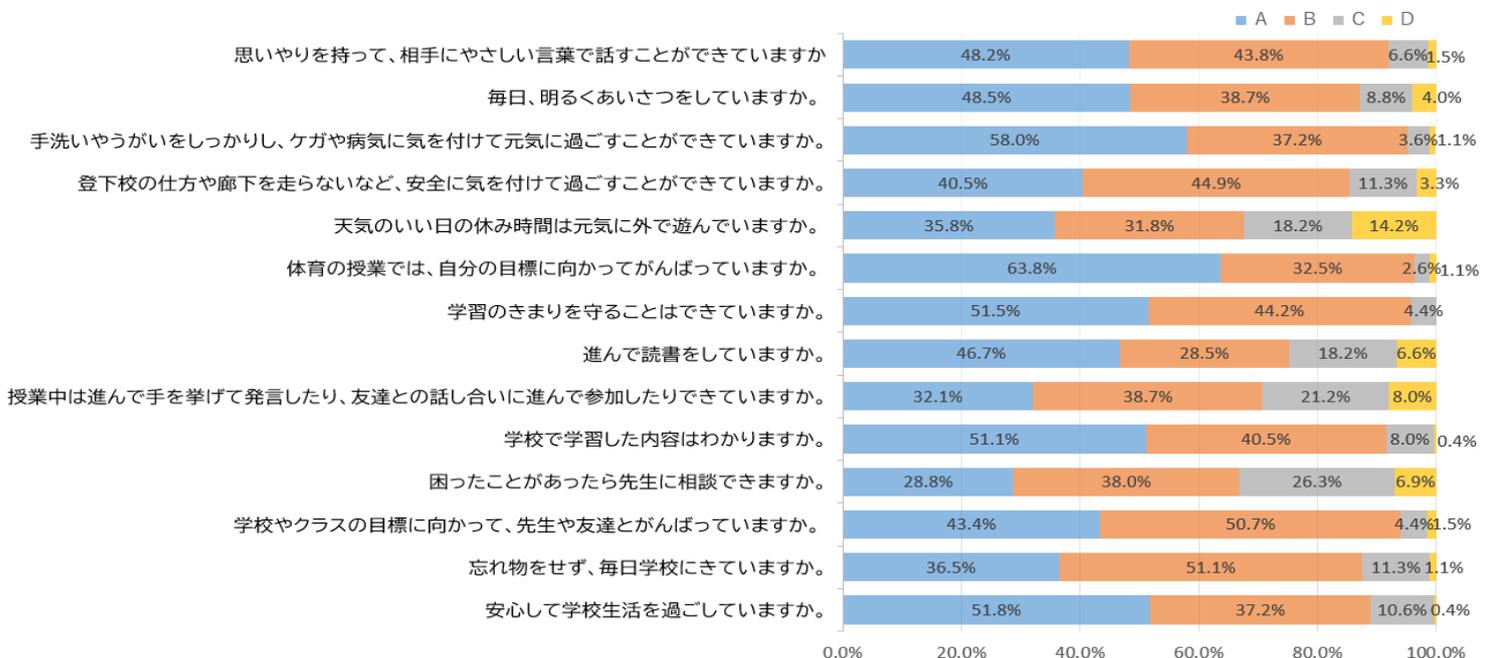
学校教育活動アンケート 集計の部

A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:全く当てはまらない

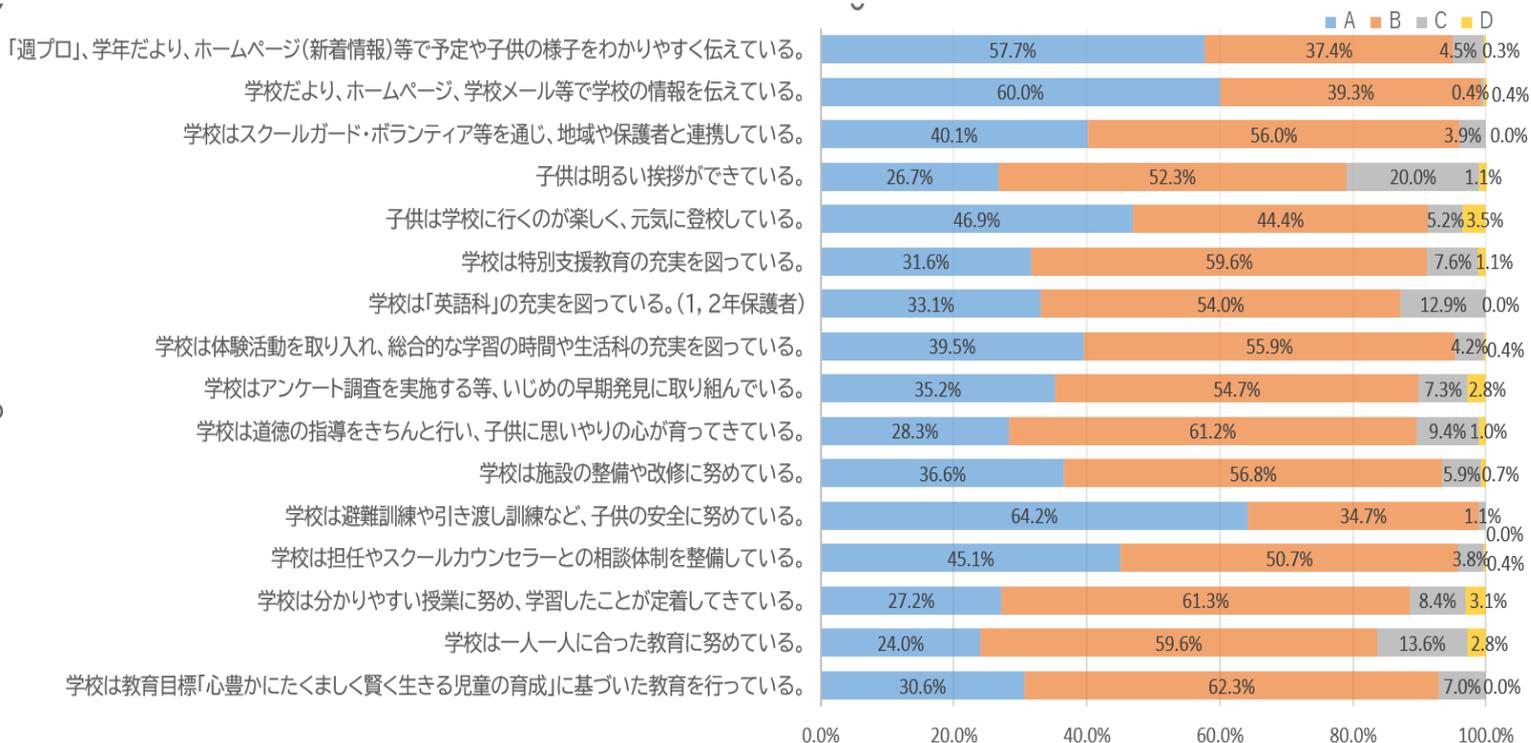
1～3年生 児童アンケート結果



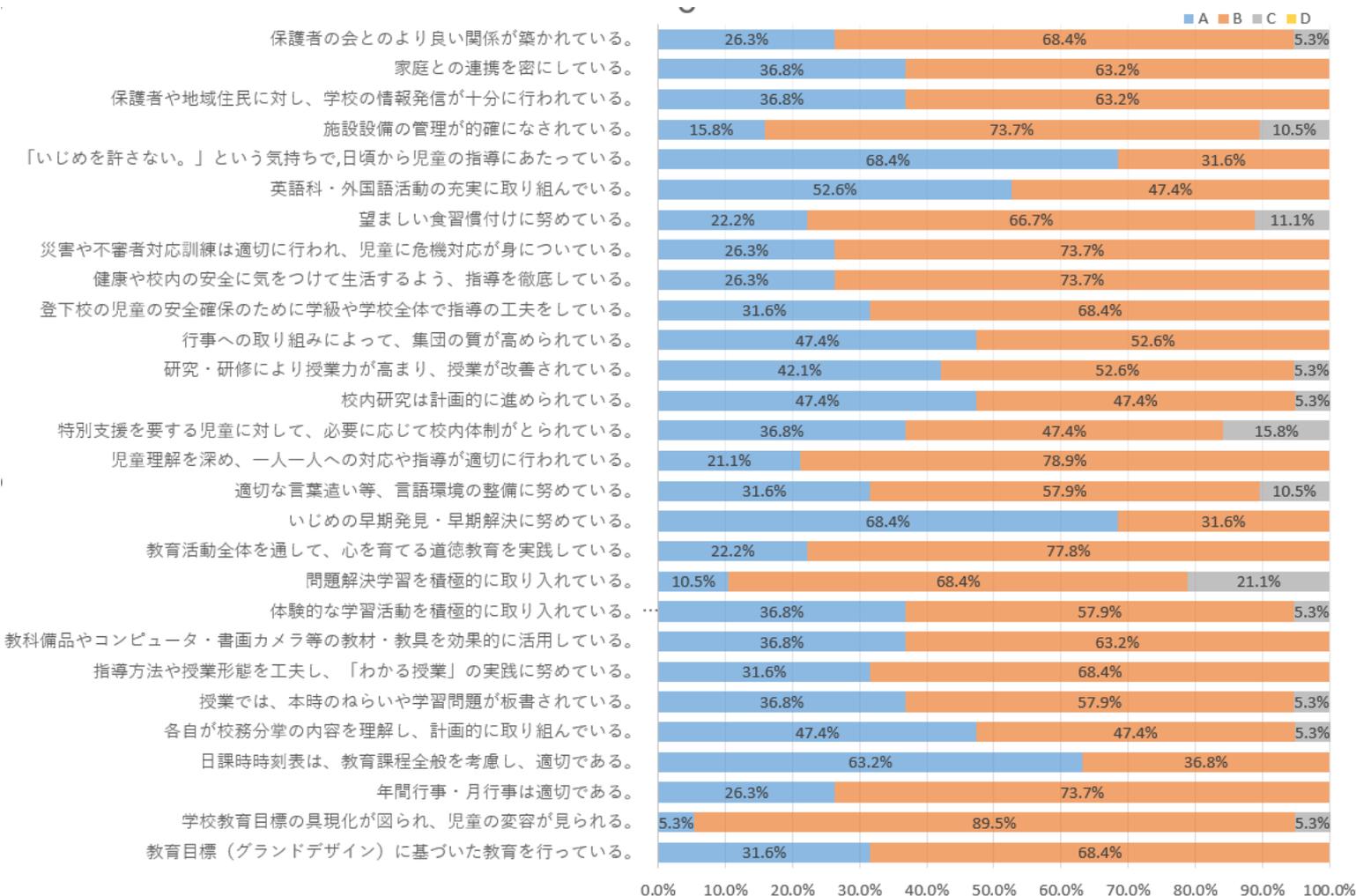
4～6年生 児童アンケート結果



保護者アンケート結果



教職員アンケート結果



自己評価結果の考察に基づく今後の改善方策

1. 学校目標

教職員には、校長より適宜、説明があったため、浸透している。保護者には、新入生保護者説明会（他学年の保護者も参観可）で詳しく説明をおこなった他、今年度は学校だよりも毎月掲載して周知した。来年度も引き続き浸透できるように取組を行う。

2. 教育課程・学習指導

令和6年度以降、校内研究の教科を国語から算数に変更し、授業力向上に励むことができた。一方で、児童は「本をたくさん読んでいますか」（低学年）「進んで本を読みましたか」（高学年）の質問項目で高評価をする割合が低かった。バランス良く学習内容や活動を計画していく。

3. 特別支援教育

特別支援学級は今年度初めて3クラスに増加した。学級担任と支援員により、丁寧な指導や支援を行うことができた。通常学級に在籍している特別支援を要する児童については、校長が関係機関と密に連絡をとっており、個々のニーズに合わせた対応をとることができている。教育委員会の指導主事、市や葛南教育事務所のアドバイザーなどに助言を求めることもできた。個別の支援計画や指導計画を作成している児童数の増加に伴い、対応も多様であるが、引き続き丁寧な対応をしていくよう努めたい。今後も学年主任、特別支援教育コーディネーター、管理職がチームとして連携しながら取組んでいく。

4. 生徒指導

あいさつについては評価が低いため、今後も声掛けを行っていく。いじめについては、未然防止と早期発見を心がけ、生徒指導部会等を通して児童の情報共有を図り、今後も市のマニュアルに基づきながら、迅速に対応していく。また、児童が困ったときに相談しやすい体制を整えていく。

5. 保護者、地域住民等との連携

地域学校協働本部の協力により、今年度も学校、保護者の会、自治会が一緒になって学校の環境整備を行うことができた。今後も、連携することを通し、子供の成長につなげていく。

6. 安全管理

保護者アンケートでは、高い評価をいただくことができた。震災がいつ起きても対応できるように、引き続き訓練等を充実させていく。

7. 情報提供

ホームページの最新情報により、学校の様子を広く保護者や地域に広めることができた。また、保護者への連絡等もメールやホームページを使って効果的・効率的に行うことができた。今後の課題としては、登下校時にゲリラ豪雨などの急な天候変化が起こった際、児童の安全確認と保護者への正確な情報提供を行っていく必要がある。

8. 教育環境整備

保護者のアンケートでは、昨年度に比べて高い評価をいただいた。昨年度後半に、体育館の屋根、フェンス、門扉等が改善されたことが大きいと考える。ただし、教職員の評価には表われていないため、引き続き必要な箇所の整備を進め、安全を保っていく。

保護者アンケート自由記述への改善方策

○学校行事について

- ・行事の精選や実施時期については、いただいた意見を含め、校内で検討します。
- ・給食の提供日については、上限回数の範囲内で保護者の負担軽減も視野に入れて検討します。

○保護者参観について

- ・授業参観の回数や時期については、いただいた意見も参考に次年度に向けて検討します。
- ・保護者参観日の周知については、活動内容によって、事前に決めた参観日に向けて活動するものと、活動の状況によって参観日を決めるものがあります。後者については、できるだけ早めに周知できるよう努めます。
- ・運動会の予備日については、今までは職員会議で運動会全般の内容を決定した後に周知しておりましたが、来年度は日程だけ先に年度初めに決定し、4月の懇談会までに分かるようにします。

○保護者への連絡について

- ・持ち物については、学年だよりでのお知らせが主ですが、変更することも考えられるため、週プロ等の一番新しい連絡が最終決定として考えていただけると有難いです。
- ・連絡帳の記載の有無については、学年の実態に即して行います。
- ・学校から家庭への連絡については、ご家庭に配慮した時間にできる限り行います。

○学習内容や活動について

- ・授業内容、活動内容については、児童の実態に応じて実施していきます。
- ・決まりごとについては学年内、場合によってはブロック(低・中・高学年)内や校内で共有しながら、各学級の実態も考慮して決めていきます。

○児童について

- ・とくに今年度は、地域の方々から多数、高学年の行動に感心したという旨の連絡がありました。今後も、学校、家庭、地域が連携を図りながら児童の育成に取り組んでいきたいと考えます。

○その他

- ・入学説明会の各種書類の名称や期限などの表記については、わかりやすい表記になるよう、次年度は改善します。
- ・校外学習の写真については、人数が多い学校では、業者が入ることもあります。本校の規模では業者依頼料の発生も考えられるため、そのあたりのことも含めて検討します。(5、6年生の一宮宿泊学習、日光修学旅行と全校の運動会については卒業アルバムに関係するため、毎年業者の参加と販売があります。)
- ・今年度は、下校時に予期せぬゲリラ豪雨がありました。早い時間に下校したクラスについては、ご心配をおかけして申し訳ございませんでした。ご指摘いただきました学校での安全確認と適切な保護者連絡を徹底していきます。
- ・教師の言動については細心の注意を払い、適切な指導を行っていきます。
- ・上履きの汚れについては、学校には約600人(550名の児童と50名の教職員)が生活し、砂埃や葉っぱ等も多いため、ある程度の汚れが出てしまうことをご了承ください。次年度は清掃活動、環境整備に力を入れていきますので、保護者の皆様にもボランティア等でご協力いただける機会を設けられたらと考えます。
- ・校内教育支援センター(本校の名称は、いちょうルーム)は令和6年度に市内の小学校に設置されたものです。いちょうルームに通う児童は、増加傾向にあり、通室理由についても様々となっています。本来の目的は、教室に入ることが難しい児童の学習の見守りと交流ですが、その実現のためのルール作りを求める声と、ル

ール作りに反対する声がある状況です。運営については、各学校の実態に合わせて進めていくものとなりますので、その都度、学校だより等で保護者の方に連絡をしていきます。

その他、たくさんの感謝と励ましのご意見をいただきました。その言葉を原動力にして、今後も教職員一同、高根台第二小学校のために力を尽くしていきます。今後とも、よろしく願いいたします。

学校運営協議会による学校関係者評価

先日、2月6日(金)に行われた学校運営協議会で、「学校教育活動アンケート」の結果を含めた学校の自己評価について学校関係者評価を実施しました。要約してお伝えします。

- ・学校教育目標については、保護者に浸透されていて良い。さらに大切なことは、教育目標をどう具現化して取組につなげていくか。そこを大切にしていく必要がある。
- ・児童アンケートで「本をたくさん読んでいますか」(低学年)「進んで本を読みましたか」(高学年)の評価が低いのに、「天気の良い日には外で元気に遊んでいますか」の項目も低いのが気になる。休み時間は何をして過ごしているのか。タブレットだとすると、その取扱いに気を配る必要がある。さらに、家庭での使用について、家庭でしっかりと指導する必要がある。
- ・高根台中学校で行われた合同発表会では、高根台第二小学校の発表が大変素晴らしかった。人数が多い分、一人一人の個性や特性を生かすのは大変だと思うが、これからも大事にしてほしい。
- ・あいさつについては学校での指導も必要だが、家庭での指導する方が影響力がある。まずは、家族で「おはよう」「いただきます」「いただきます」などのあいさつをする習慣を身に付けさせてほしい。
- ・地域学校協働本部の協力により、今年度も学校、保護者の会、自治会が一緒になって学校の環境整備を行うことができた。今後も、連携することを通し、子供の成長につなげたい。
- ・11月に行われる総合防災訓練の保護者の参加率が低く、毎年高齢の人がほとんどであり、実際に災害が起きた時に不安である。若い世代となる保護者が積極的に参加してほしい。
- ・兄弟がいるので、高根台中、高根台第二小学校、高根台文化こども園で合同訓練のようなものができたらよいのでは。
- ・桜の木が伐採されていくのが残念。どうにかして、寿命を長くできる方法を模索してほしい。